

学校・地域・家庭の連携に関する社会教育の取り組み

No.	名称	事業目的及び根拠	事業内容	28年度実績		29年度予定	
					決算額 (千円)		予算額 (千円)
1	社会教育委員会議	学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から12名の社会教育委員を委嘱し、教育委員会が行う社会教育行政に対して、定例会や研修会などの活動を通して、行政外の立場から広く町民の皆さんの意向を反映した意見をいただき、社会教育活動の拡充や振興を図っていく。	●委員12名(任期:平成28年4月1日～30年3月31日、任期は2年)*欠員1名 ●定例会において社会教育上の課題事項について審議する。 ●平成27年度末に教育委員会に対し提言いただいた。テーマは、「家庭教育の充実」、「青少年の健全育成」。	●定例会6回 ●その他町行事への参加(町民体育大会、成人式等)や研修会・視察の実施	270	●定例会6回 ●その他町行事への参加(町民体育大会、成人式、TOJ等)	310
				●研修会への参加5回(山城地方総会、山城地方研修会、京都府総会、京都府研究大会、近畿地区研究大会)		●研修会への参加5回(山城地方総会、山城地方研修会、京都府総会、京都府研究大会、近畿地区研究大会)	
2	青少年健全育成事業	乳幼児期から青少年期にいたるまでの諸課題の解決を図るため、各種研修会等を開催するとともに、児童・生徒に対する学習・体験の機会を提供する。 また、青少年の健全育成を図るための活動を進める社会教育関係団体等の活動を支援する。	●家庭教育のあり方を学ぶ「家庭教育学級のびのびコース」の実施する。	●家庭教育学級のびのびコース計30回(前・中・後期それぞれ10回ずつ、延65組受講) ●委託業者:シージーエス	480	●家庭教育学級のびのびコース計30回(前・中・後期それぞれ10回ずつ、延60組受講予定) ●委託業者:シージーエス	480
			●小学校クラス代表児童による「子ども議会」を開催する。	●子ども議会(7/25)開催、子ども議員14名参加 ●各校代表1名による代表質問、全議員によるまちづくり委員会を実施 ●代表質問テーマ:「精華町を住みよいまちにするために。(私たちは、何をすべきか?何ができるか?)」 まちづくり委員会テーマ: テーマ①:まちの魅力づくりについて(観光名所、特産品など) テーマ②:まちの情報発信について(We b ページなど広報手段)		21	
			●PTA連絡協議会に対する活動助成。各校PTAとの共催による講演会の実施する。	●PTA連絡協議会に対する活動助成 ●PTAと連携した講演会の実施(山田荘小学校、精華台小学校、精華中学校、精華西中学校)	234	●PTA連絡協議会に対する活動助成 ●各校PTAと連携した講演会の実施	294
			●青少年健全育成協議会に対する活動助成。	●青少年健全育成協議会に対する活動助成 ●あいさつ運動、夏季健全育成パトロール、青少協標語 ●「議会報告と意見交換会」への参加	950	●青少年健全育成協議会に対する活動助成 ●あいさつ運動、夏季健全育成パトロール、青少協標語等	950
			●次世代の親となる中学生を対象とした子育て講座を実施する。	●精華中及び精華南中において、1学年と3学年を対象に助産師による講演を実施 ●講師:調整中 ●精華中及び精華南中において、3学年を対象に母と子(乳児)とのふれあい交流を実施 ●町内在住の母子延べ56組参加	80	●精華中及び精華南中において、1学年と3学年を対象に助産師による講演を実施 ●講師:調整中 ●精華中及び精華南中において、3学年を対象に母と子(乳児)とのふれあい交流を実施	80
3	子ども祭り事業	本町の「こどもを守る町」宣言の趣旨を踏まえ、子どもが楽しみながら体験・学習し、併せて大人が規範を示すこと等を通して、子どもが社会的マナーや公共徳を身に付ける機会とするため、地域全体が協働・連携し、様々な体験学習やイベントなどの取り組みを実施する。	●平成28年10月15日(土)、むくのきセンター ●オープニングイベント(精華中学校吹奏楽部)、体験コーナー(23団体)、子どもフリーマーケット(8グループ)、模擬店コーナー(パンの販売、1団体) ●参加者約1,500名	1,000	●平成29年10月21日(土)、むくのきセンター ●オープニングイベント(町内中学校吹奏楽部予定)、体験コーナー、子どもフリーマーケット、模擬店コーナー(パンの販売、1団体) ●参加見込数約1,600名	1,000	
			「精華町子ども祭り」を開催し、子どもたちに体験を通じた学習の場を提供する。 ●実行委員会構成団体 精華町教育委員会、社会教育委員会、保育所、幼稚園、小・中学校、PTA連絡協議会、支援学校生親の会、自治会連合会、民生児童委員協議会、ボランティア連絡協議会、青少年健全育成協議会、精華女性の会、身体障害者協議会、老人クラブ連合会、文化協会、NPO法人体育協会		●実行委員会構成団体 精華町教育委員会、社会教育委員会、保育所、幼稚園、小・中学校、PTA連絡協議会、支援学校生親の会、自治会連合会、民生児童委員協議会、ボランティア連絡協議会、青少年健全育成協議会、精華女性の会、身体障害者協議会、老人クラブ連合会、文化協会、NPO法人体育協会		

学校・地域・家庭の連携に関する社会教育の取り組み

No.	名称	事業目的及び根拠	事業内容	28年度実績		29年度予定	
					決算額 (千円)		予算額 (千円)
4	地域で子どもを育てる連絡協議会	精華町地域で子どもを育てる連絡協議会設置要綱に基づく機関。関係団体が緊密な連絡をとり、地域社会、学校、家庭が一体となって、次代を担う子どもを育てる良好な環境づくりを行う。	スクールヘルパー、学校人材バンク、子ども祭り、あいさつ運動、精華まなび体験教室、学校支援地域本部等について、関係機関及び団体との連絡調整を行う。	●会議1回(6月) ●拡大あいさつ運動(6月、9月、1月)	0	●会議2回(5月、3月) ●拡大あいさつ運動(6月、9月、1月)	0
5	精華まなび体験教室事業	子どもたちの安全・安心な居場所を確保し、文化活動やスポーツ活動などを地域の方々の協力を得て実施することにより、地域社会の中で、子どもたちを心豊かで健やかに育てる環境づくりを推進する。	●精北教室:月1回土曜日午前。文化活動、異世代交流等。	●年間10回、文化活動やスポーツ活動などを実施 ●参加児童延べ601名、コーディネーター1名、ボランティア延べ92名。	871	●年間10回、文化活動やスポーツ活動などを実施 ●コーディネーター1名、ボランティアで運営	1,000
			●川西教室:月1回水曜日放課後。学習、文化活動、異世代交流等。	●年間10回、自主学習(宿題)の後、文化活動やスポーツ活動などを実施 ●参加児童延べ1,102名、コーディネーター1名、ボランティア延べ79名		●年間10回、自主学習(宿題)の後、文化活動やスポーツ活動などを実施 ●コーディネーター1名、ボランティアで運営	
			●山田荘教室:月1回水曜日放課後。学習、文化活動、異世代交流等。	●年間10回、文化活動やスポーツ活動などを実施 ●参加児童延べ780名、コーディネーター1名、ボランティア延べ71名		●年間10回、文化活動やスポーツ活動などを実施 ●コーディネーター1名、ボランティアで運営	
			●東光教室:年5回。学習、文化活動、異世代交流等。	●年間6回、科学体験や自然観察などを実施 ●参加児童延べ162名、コーディネーター1名、ボランティア延べ51名		●平成27年度より再開 ●年間5回。学習、文化活動、異世代交流などを実施 ●コーディネーター1名、ボランティアで運営	
			●精華台教室:日時調整中。学習、文化活動、異世代交流等。	●休止中のため、開催実績なし		●近年中の再開を目指し、調整を図る	
●平成26年度に策定した「精華町放課後子ども総合プランに係る行動計画」に基づき、放課後児童クラブとの連携を進める。	●毎月の実施内容について情報提供するとともに、参加者名簿を共有	●放課後児童クラブと連携し、どちらのプログラムへも参加できるよう連携を図る					
6	学校支援地域本部事業	地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することによって、教員や地域の大人が子どもと向き合う時間を増加させ、一方で、住民等が学習成果などを活用する機会を拡充し、ひいては地域の教育力の向上を図っていく。	●平成20年度から、精華南中学校区(山田荘小学校・精華南中学校区サポーター会議)の学校支援活動に取り組んでいる。	●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティア参加者延べ人数:精華南中学校約100名、山田荘小学校約100名 ●サポーターのつどいの開催や学校支援ボランティアなどの事業を実施	2,923(人件費含む)	●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティアの協力を得、学校支援を実施	3,520(人件費含む)
			●平成22年度から、精華中学校区(精華中学校コミュニティ協議会)の学校支援活動に取り組んでいる。	●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティア参加者延べ人数:精華中学校約85名、精北小学校約60名、川西小学校約60名 ●コミュニティ協議会の開催や学校支援ボランティアの活動、コミュニティースクールや総合型スポーツクラブとの連携に取り組む		●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティアの協力を得、学校支援を実施 ●コミュニティースクールのほか、総合型地域スポーツクラブとの連携を実施	
			●平成25年度から、精華西中学校区(精華西中学校区地域連携プロジェクト)の学校支援活動に取り組んでいる。	●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティア参加者延べ人数:精華西中学校約100名、東光小学校約200名、精華台小学校約150名 ●プロジェクト会議の開催や学校支援ボランティアの活動などの事業を実施		●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティアの協力を得、学校支援を実施	